

## 巻頭言

### 特集「GHG関連の最新動向とNKの取組み」発刊によせて

開発本部 技術研究所長 石橋 公也

ClassNK技報No.10の発行に際して、一言ご挨拶申し上げます。

技術広報誌「ClassNK技報」は、本会の技術活動や研究成果などの公表により、海事産業などへの技術的貢献を図ることを目的に発行しています。前号（ClassNK技報No.9）では、電気自動車により安全な輸送に貢献するために世界に先駆けて発行したガイドラインの解説とそれに対応する消火技術に加えて、ロケット回収船等の最新技術動向や最新の研究開発成果等を報告いたしました。

2023年7月にIMO MEPC 80（国際海事機関 海洋環境保護委員会）において「遅くとも2050年頃までにGHGネットゼロ排出を目指す」という野心的目標が策定されました。本会は、GHGネットゼロ排出への円滑な移行を包括的にサポートすることを目的として、「ClassNK トランジション サポート サービス」を展開しております。本号では、お客様のニーズに合わせたソリューションを提案するサポートサービスのメニューの中にある「規制を理解する」「代替燃料サポート」に関連する最新情報を皆様に提供する特集記事「GHG関連の最新動向とNKの取組み」を掲載します。本特集記事では、GHG排出に係る規制、代替燃料の特質、サプライチェーン、ライフサイクルコスト及び船用機関の代替燃料への対応状況等について解説します。

また、本年7月1日に建造契約される船舶より、船舶のサイバーセキュリティ強化の観点から適用されることとなった国際船級協会連合（IACS）の統一規則E26及びE27については、海事業界において関心が高いと考えられることから、規制の背景や動向、そして本会の取組みについて概説いたします。

本会は今後も社会や業界のニーズを踏まえて、海上における人命と財産の安全確保、海洋環境の保全および社会を先導するイノベーションの創出に資する研究開発に鋭意取組み、海事産業の更なる発展への貢献に努めてまいります。

今後とも皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。